

令和5年9月13日

三田市長 田村 克也 様

三田市行政評価委員会
委員長 赤澤 宏樹

令和5年度行政評価（内部評価）に対する検証について（答申）

令和5年8月2日付三政第26号で諮問のあった標題の件について、三田市行政評価条例第5条第3項の規定に基づき検証した結果、下記のとおり答申します。

記

(1) 総括

当委員会が実施した令和5年度の行政評価（外部評価）では、令和4年度にスタートした第5次総合計画に基づく初年度の取り組みについて評価を行った。25施策全ての進捗状況について3段階で評価することとし、その3段階を「A：良好な進捗」、「B：標準的な進捗」、「C：今後の取り組みに期待」としたものである。

具体的評価手法としては、行政が作成した内部評価調書に基づき判断することとした上で、調書の記載を補完するため3施策についてヒアリングを実施すると共に、その他の施策についても書面での質疑を行った。

これらの結果、25施策の評価は「A：良好な進捗」が5施策、「B：標準的な進捗」が18施策、「C：今後の取り組みに期待」が2施策であった。内部評価からは、コロナ禍の影響が残る中いずれの施策も真摯かつきめ細かに取り組まれていることが伺えたが、「三田らしさ」を活かした取り組みの充実や、市民や事業者、団体等との連携強化に一層努められたい。

また、次年度の評価においては、成果指標の進捗状況についての説明を加えるなど、市民や第三者にとってわかりやすい評価調書となるよう併せて検討されたい。

当委員会での評価における今後の取り組みへの期待や助言をもとに、引き続き効果的・効率的な施策の推進を望む。

(2) ヒアリング対象施策について

取組番号	6	取組名	学校教育の充実		
1 内部評価の概要					
対象経費(人件費除く:千円)				施策関連部署	
R4 予算	2,652,200	R5 予算	1,777,315	学校教育部	
予算の重点項目に対する市の取組結果(R4 年度)					
主な取組3項目(予算額:千円)		⇒左記の計画数量、達成数量及び達成度評価			
① 小中学校大規模改修事業等(1,156,340) 【学びを支える環境の整備～子どものより良い学びの環境づくり～】		① 大規模改修及び個別改修による便器の洋式化、照明のLED化等その他修繕工事を実施した。 洋式化の純増数は以下のとおり。 小学校 23基(内 大規模改修 10基、個別改修 13基) 中学校 23基(内 大規模改修 19基、個別改修 4基) (達成度) 各校の状況を鑑み照明のLED化、順次便器の洋式化を推進することができた。			
② 児童生徒への相談・支援体制の充実 【一人ひとりが大切にされる教育・支援の充実】		② スクールカウンセラー(SC)、スクールソーシャルワーカー(SSW)による相談・支援を行った。 SC相談件数 R4:3,582件 (R3:1,685件) SSW相談件数 R4:1,110件 (R3:1,114件) 不登校児童生徒・保護者が関係機関に相談・支援を受けている割合 R4:65.3% (R3:73.7%) (達成度) 特別な配慮を要する児童生徒の状態を把握し、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーや関係機関と連携し、個に応じた相談・指導・支援を充実させた。			
③ オンライン英語授業実施事業(1,460) 【社会的自立に向けた教育の推進】		③ タブレット端末を活用した外国人講師によるマンツーマンオンライン英語授業を実施した。 全8校の中3:年3回 (達成度) 生徒アンケートで8割を超える肯定的な回答を得ることができた。 「楽しく学べた」80.9%(R3:81%)、「英語学習に役立った」87.8%(R3:85%)、「これまで学習してきた英語を使うなどして、自分の言いたいことや気持ちなどを伝えようとした」91.7%(R4新規項目)など。			
成果指標の推移				成果を踏まえた重点課題等(R5年度～)	
指標名		基準 R2	R4	目標 R8	現在もっとも重要な1項目+その他の課題
1	学習の中でコンピュータ等のICT機器を使うのは勉強の役に立つと答える子どもの割合	(小6)71.1% (中3)64.2% (R3)	(小6)70.2% (中3)58.3%	(小6)90.0% (中3)85.0%	【重点課題】 不登校対策の充実 【一人ひとりが大切にされる教育・支援の充実】 【詳細説明】 不登校及び別室登校児童生徒の増加に伴い、「小学校子どものこころの支援員配置」「こころとからだの自立に向けた相談会」「あすなるe-school」の各事業を実施し、長期にわたる不登校児童生徒への支援の充実を図る。 【その他の課題】 ■ 小中一貫教育の推進(確かな学力の育成) ■ 校舎等の洋式便器への改修推進
2	「いじめを受けたり、嫌なことがあったりした時」相談しないと答える子どもの割合	(小6)7% (中3)11% (R3)	(小6)10.3% (中3)9.1%	(小6)0% (中3)0%	
3	「自分には、よいところがあると思う」と答える子どもの割合	(小6)80.7% (中3)76.5% (R3)	(小6)78.3% (中3)75.1%	(小6)90.0% (中3)85.0%	
4	「将来の夢や目標をもっている」と答える子どもの割合	(小6)80.7% (中3)68.6% (R3)	(小6)79.2% (中3)66.7%	(小6)90.0% (中3)85.0%	
5	校舎の洋式便器1基あたりの児童生徒数	(女子)14.4人 (男子)20.8人 (R3)	(女子)12.5人 (男子)19.6人	(女子)10.0人 (男子)20.0人	
					R5 予算対応済内容(千円)
					生徒指導対策事業費(25,077)
2 外部評価での主な意見					
<ul style="list-style-type: none"> ● 不登校児童生徒への相談・支援については実績値の向上が見られなかったものの、的確に現状の課題を分析認識され、改善方策等の検討がなされている点が評価できる。 ● 成果指標にアンケート結果を用いる場合は、児童生徒が回答しやすくその思いや状況が正しく反映されるよう工夫されることを期待する。 ● 子どもたちの自己実現に向けて、子どもたちに寄り添う教育を実践するため、教職員の負担軽減の重要性が高まっている。引き続き機器・環境の整備や、教職員向け研修会、人的配置によるサポートのほか地域住民との連携による支援などを進め、よりよい教育活動に取り組んでいただくことを期待する。 					

取組番号	16	取組名	農業の振興
------	----	-----	-------

1 内部評価の概要

対象経費(人件費除く:千円)		施策関連部署	
R4 予算	389,560	R5 予算	837,474
地域共創部産業戦略室 学校教育部 行政委員会事務局			
予算の重点項目に対する市の取組結果(R4 年度)			
主な取組3項目(予算額:千円)		⇒左記の計画数量、達成数量及び達成度評価	
①新しい就農者の育成(2,500) 【みんなで支える三田の農業】		①就農希望者に向けた相談会の開催及び農業機械等の導入経費を助成した。 ・認定新規就農者数(累計) R3:28経営体 →R4:31経営体 (達成度)スムーズな就農につなげるとともに就農初期の負担軽減を図ることができた。	
②小規模農家の営農継続支援(6,500) 【みんなで支える三田の農業】		②小規模農家の営農を支援するため農業機械の導入経費を支援した。 ・導入件数(R4新規) R4実績13件 (達成度)小規模農家への支援により営農継続につなげた。	
③スマート農業の普及促進(1,800) 【スマート農業の導入で作業の自動化・省力化を実現】		③農業経営の効率化や農作業の負担軽減を図るため、スマート農業機械の導入経費を支援した。 ・導入件数(R4新規) R4実績5件 (達成度)持続可能な農業経営に向けスマート農業の普及を促進した。	
成果指標の推移			成果を踏まえた重点課題等(R5年度～)
指標名	基準 R2	R4	目標 R8
1 認定農業者数及び認定新規就農者数	88経営体	77経営体	100経営体
2 鳥獣害の農作物被害額	8,720千円	9,808千円(R3)	6,500千円
3 三田牛の出荷頭数	209頭	101頭	250頭
4 獣害対策柵の設置総延長	201km	208km	260km
5 学校給食での地場産野菜使用率	31.3%	28.6%	35.0%
【重点課題】 多様な担い手の確保 【みんなで支える三田の農業】 【詳細説明】 人口減少や高齢化による担い手不足など、厳しさを増す農業環境に対して、大規模農家をはじめ小規模農家や半農半X等も含め、多様な農業者が総掛かりで地域の農業を支えていくことが求められている。 【その他の課題】 ■ 地域計画の策定 ■ 鳥獣被害対策			
R5 予算対応済内容(千円)			
新規就農者育成総合対策事業(35,630) 農地利用効率化等支援事業(9,000) 小規模農家営農継続支援事業(6,500) 農業経営スマート化促進事業(6,800)			

2 外部評価での主な意見

- 認定農業者数及び認定新規就農者数に関する成果指標は、目標達成の難しさを感じるが、個別計画である「第5次農業基本計画」と連動した取り組みにより、農地の有効活用や集積が推進されている点について評価できる。
- スマート農業については、機器の導入による省力化に限らず、データの活用などによる高品質化や環境負荷の軽減なども視野に、多様な主体との連携による推進を期待する。
- 国・県と協調して実施する事業に加え、都市部と農村が隣接する三田の立地を生かした、より三田らしい農業政策を打ち出し推進することを期待する。

取組番号	1 7		取組名	観光・交流・文化の振興		
1 内部評価の概要						
対象経費(人件費除く:千円)				施策関連部署		
R4 予算	598,335	R5 予算	731,331	地域共創部産業戦略室 総合政策部未来戦略室	地域共創部市民協働室 まちの再生部都市政策室	学校教育部
予算の重点項目に対する市の取組結果(R4 年度)						
主な取組 3 項目(予算額:千円)			⇒左記の計画数量、達成数量及び達成度評価			
① さんだのまちを遊ぶ博覧会の推進(2,039) 【魅力あるコンテンツづくり～おもちゃ箱の中はワクワク・ドキドキがいっぱい～】			① 着地型観光の推進に向け、実施プログラムの拡充を図り、新たな観光資源等を市内外へ広く情報発信を行った。 ・実施プログラム数 R3 実績 11 プログラム→R4 実績 33 プログラム (達成度) 事業者研修を通じて、プログラムの魅力増進と事業者間の連携につながった。			
② ふるさと納税制度を活用した魅力発信(82,627) 【情報発信と魅力向上～欲しい人に、わかりやすく届けます～】			② 返礼品の新規開拓やポータルサイトのPR広告の強化を図った。 ・返礼品数 R3 実績 200 品→R4 実績 250 品 (達成度) 寄附件数及び寄附額の増加につながった。			
③ 総合文化センターの持続可能な運営管理と文化活動支援の実施(242,780) 【総合文化センターの適切な運営と文化活動の支援～文化芸術で人生が変わる!～】			③ 開館 16 年を迎えた総合文化センターの持続可能な運営方策を検討しPFI 手法等導入可能性調査を実施。また市民への文化振興事業の展開を進めた。 ・施設利用件数 4,949 件 イベント件数 197 件 (達成度) PFI 手法等導入可能性調査においては、改修PFI 手法等の導入の方向付けを行い、次年度以降の予算化に向け調整が進んだ。また文化振興事業においては、コロナ対策を講じながら事業展開を進め、順調に事業件数を伸ばした。			
成果指標の推移				成果を踏まえた重点課題等(R5 年度～)		
指標名		基準 R2	R4	目標 R8	現在もっとも重要な 1 項目+その他の課題	
1	観光入込客数	3,569 千人 (R 元)	2,988 千人 (R3)	3,900 千人	【重点課題】 アウトドア交流都市に向けた核プロジェクトの推進 【地域資源の保存継承～みんなで守り育て三田の誇り～】 【詳細説明】 ・野外活動センター再生プロジェクトについては、新たな運営事業者による魅力あふれる施設へ再生するため、進入路の改修をはじめとした取り組みを進める。 ・千丈寺湖畔再生プロジェクトについては、千丈寺湖畔周辺における拠点整備や事業可能性を検討するためのサウンディング調査を実施するとともに、プレイベントの実施により認知度向上を図る。 【その他の課題】 ■ 寄附制度を活用した財源確保を推進するため、ふるさと納税については、R8 年度年間寄附額 5 億円(12,000 件相当)を新たな目標に設定して取り組みを進める。	
2	観光消費額	24,594 百万円 (R 元)	19,534 百万円 (R3)	26,100 百万円		
3	文化財施設 のプログラム 参加者数	4,717 人 (R 元)	3,201 人	5,000 人		
4	三田市公式 インスタグラ ムフォロワー 数	2,248 件	3,128 件	5,500 件		
5	ふるさと納税 寄附件数	5,265 件	8,409 件	8,000 件		
6	総合文化セ ンターでのイ ベント件数	203 件 (R 元)	197 件	250 件	R5 予算対応済内容(千円) 千丈寺湖畔再生プロジェクト推進事業(10,670)	
2 外部評価での主な意見						
<ul style="list-style-type: none"> ● 関係・交流人口の拡大に向けた観光・交流施策の推進にあたっては、地域住民への丁寧な説明、周辺の環境や地域住民の安全安心への配慮のもと、適切に事業を実施されることを期待する。 ● 市民や団体等が市内で行うイベント等の周知について、三田の魅力・ブランドを積極的に発信する観点から市公式 SNS 等の活用推進や、市民が情報発信に関わる仕組みの検討など、イベント主催者等との連携により効果的な発信が行われることを期待する。 ● コロナ禍の影響が大きい本施策の評価にあたっては、社会状況も考慮した進捗状況の評価が必要である。今後、実施状況や成果指標に関する記載の工夫について、検討されたい。 						

(3) 25 施策の評価について

A:良好な進捗 B:標準的な進捗 C:今後の取り組みに期待

取組番号	取組名（施策名）	評価	取組番号	取組名（施策名）	評価
1	人権・共生のまちづくり	A	14	心つながる暮らしの安心	B
2	地域で支えるまちづくり	B	15	商工業の振興	B
3	健康づくり	C	16	農業の振興	B
4	乳幼児期の育ち	B	17	観光・交流・文化の振興	C
5	地域ぐるみの子育て	A	18	まちの再生	B
6	学校教育の充実	B	19	良好な住まい	B
7	若者が集うまち	A	20	交通ネットワーク	B
8	いつまでも学び、活躍できるまちづくり	B	21	水の保全	B
9	地域医療の安心	B	22	里山・自然の保全	B
10	生活の安全安心・非常時への備え	B	23	持続可能な環境づくり	B
11	子ども・子育ての安心	B	24	協働・共創のまちづくり	A
12	高齢者の安心	A	25	行政経営	B
13	障害のある人の安心	B			

(4) ヒアリング対象外施策への主な意見

- **3健康づくり** 評価結果としては「C:今後の取り組みに期待」となったが、「三田の高齢者は元気な印象がある」「高齢者自身が積極的に体力づくりや地域活動に参加している」など、当施策の取り組み効果を感じている委員もいた。若年層の健診受診率の増加や体力づくりの推進による、将来にわたる市民の健やかで心豊かな生活に向け施策全体の底上げに期待する。
- **5地域ぐるみの子育て** 学校支援ボランティア活動やこうみん未来塾の取り組み等により学校と地域の連携の仕組みが適切に機能しており、また、保護者の利便性の向上に向け、新たな取り組み等が行われていることが高く評価できる。
- **13障害のある人の安心** 障害者総合相談窓口「きいてネット」の相談件数の伸びは見られないが、新規相談の増加や医療機関との連携強化など窓口機能が強化されており一定評価できる。
- **25行政経営** 市民ニーズの多様化による業務量の増加や、働き方改革など厳しい社会環境の中、限られた人員体制での各施策の推進や市民サービス向上への取り組みを評価する。引き続き健全財政のもと行政サービス水準の維持向上に期待する。